

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領についての理解を深め、適切に教育課程を編成できるように取り組む。 ②「自立活動」について理解を深めながら、授業改善につなげる。	①新学習指導要領について学部間での理解を図る。 ②「自立活動」についての研修会等を開催し、授業改善を図る	①新学習指導要領について学部間で理解を図ることができたか。 ②授業改善に生かすことができる研修会を実施することができたか。					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。	①児童生徒一人ひとりの障がいの状態や発達段階を踏まえた、アセスメントの工夫・改善をしていく。 ②ICT 機器の活用や児童生徒に適した教材教具の開発などに積極的に取り組む。	①相談支援担当や専門職等と連携し、環境設定や指導方法についての工夫・改善を図る。 ②授業場面での活用の実際や教材作りの実践などの記録化を図る。	①相談支援担当や専門職等と連携し、環境設定や指導方法についての工夫・改善を図ることができたか。 ②授業場面での活用の実際や教材作りの実践などの記録化を図ることができたか。					
3 進路指導・支援	・一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。	①学部や学年進行に応じた段階的で系統的な進路指導・支援を行う。 ②進路について保護者の理解を図る。	①進路担当専任と各学部、各学年が連携し、個々の生徒にあった進路指導・支援を行う。 ②進路に関する情報をホームページ等で活用してお知らせする	①進路担当専任と各学部、各学年が連携し、個々の生徒にあった進路指導・支援を行うことができたか ②進路に関する情報をホームページ等を活用し理解を図ることができたか。					
4 地域等との協働	・共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。	①コミュニティスクールを活用し、地域との理解推進を図る。 ②地域の資源を活用し、障がいのある子どもの理解者を増やす。	①コミュニティスクールの部会を活用する。 ②地域にある資源を掘り起こす。	①コミュニティスクールの部会を活用し地域との理解推進を図ることができたか。 ②地域にある資源を掘り起こすことができたか。					
5 学校管理 学校運営	・不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ・児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。 ・教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 ②年齢や生徒の状況に応じた防災教育を計画的に行う。 ③長時間勤務を是正する。	①不祥事ゼロプログラムを作成し、全職員で取り組む。 ②避難訓練やシェイクアウト訓練等を通して、事前事後学習を行う。 ③週に1回は、「ノー残業デー」を設定する。	①不祥事ゼロプログラムを作成し、全職員で取り組むことができたか。 ②避難訓練やシェイクアウト訓練等を通して、事前事後学習を行うことができたか。 ③「ノー残業デー」を何回実施することができたか。					